

ハートランド平尾台株式会社

I 法人の概要（平成 25 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉南区平尾台一丁目 1 番 1 号
- 2 設立年月日 平成 8 年 4 月 1 日
- 3 代表者 代表取締役 木下 伸生
- 4 資本金 364,800 千円
- 5 北九州市の出資金 88,200 千円（出資の割合 24.2%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	9 人	0 人	1 人	8 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	8 人	0 人	0 人	8 人
職 員	7 人	0 人	2 人	5 人

II 平成 24 年度事業実績

1 事業の経過及び成果

(1) 経過

ハートランド平尾台（株）は、「平尾台自然環境保全及び平尾台上住民の生活並びに産業活動の均衡ある発展に貢献するとともに、都市及び近郊住民が心身ともにリフレッシュできる場を提供する。」を設立の目的にしている。現在は、北九州市及び福岡県からの指定管理業務が主たる事業となっている。

平成 24 年度は、北九州市から「北九州市平尾台自然の郷」を受託して 4 年目（指定管理期間 5 年間）、福岡県から「福岡県平尾台自然観察センター」を受託して 1 年目（指定管理期間 5 年間）にあたった。

この会社を取り巻く経営環境の特徴は、天候によって入園者数に甚大な影響がでることであり、平成 24 年度は、ゴールデンウィーク中の天候不順、7 月の九州北部豪雨、9 月の台風など、特に日曜日や祝日の悪天候に見舞われ、上半期の入園者数が大きく伸び悩む結果となった。

このような厳しい環境のなか、年間入場者数のリカバリーを目指して、リスクが高いといわれる冬期における集客イベントを狙いを絞って着実に実施したことにより、結果として通年の入園者数及び当期純利益ともに前年を上回ることができた。

(2) 成果

① 入園者数 305,436 人（平尾台自然の郷）

入園者数は、上半期 188,656 人（62%）、下半期 116,780 人（38%）となった。

当初の入園者数の見込みは、上半期 65%、下半期 35%としていたが、上半期の入園者数の減少に対して、冬期の「平尾台ふゆはなび」、「平尾台野焼き」、「平尾台クロスカントリー」は例年より拡大し、また実施日が好天に恵まれ、多くの入園者があった。

② 売上高 235,176 千円

売上高は、235,176 千円となっている。経常利益は、7,554 千円となり、法人税控除後の当期純利益として、3,779 千円を計上することができた。

事業別売上構成は、次のとおりである。

・ 運営などの受託部門	192,117 千円
・ 飲食部門	15,525 千円
・ 物販部門	17,248 千円
・ その他の直営部門	10,286 千円

③ 指定管理者の指定

「福岡県平尾台自然観察センター」の指定管理業務について、新たに、福岡県から指定管理者の指定を受け、平成 24 年度から 5 年間となった。

2 主な事業の実施事業

(1) 「平尾台自然の郷」の入園者増加策、販売促進、PR 活動など

① 春のゴールデンウィーク期間と秋の行楽シーズン期間の入園者が多い時に、入園者数の上乗せ効果を期待して、恒例となっている「平尾台プラスバンドフェスタ」などのイベントを集中させて実施したものの天候に恵まれず入場者数は不振であった。

② 冬期は、入園者数が減少するので、集客効果が大きい「平尾台ふゆはなび」などのイベントを実施。幸い企画と天候があたり、冬期にも関わらず入場者数を伸ばすことができた。

③ 新たな入園者を開拓するために、「青龍王秘剣伝説」キャンペーンを行った。また、冬期に「どんど焼き」、「クロカンウォーキング」、「トレランウォーキング」などの新イベントを実施した。

④ 公益的なプログラムとして、学校教育の「環境体験科」授業を積極的に受け入れた。

⑤ レストランでは、量り売りバイキング「ピクニックランチ」を販売した。

⑥ 春、秋の行楽シーズンにあわせて、情報誌を使った企画広告と新聞折込みチラシを使ったイベント情報広告を新商圈として福岡市内を加えて実施した。

(2) 「福岡県平尾台自然観察センター」では、室内で行える工作教室や冬場でも集客効果が高いコウモリ観察などを積極的に実施した。

Ⅲ 平成24年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成25年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	471,499,304	流動負債	19,102,042
現金預金	449,212,343	買掛金	1,594,740
売掛金	13,435,722	未払金	3,780,170
商品	8,117,198	未払費用	5,718,758
原材料	566,571	未払法人税等	2,183,800
貯蔵品	167,470	未払消費税等	1,566,800
固定資産	58,118,590	預り金	1,373,377
(有形固定資産)	(57,827,390)	賞与引当金	2,884,397
建物	2,257,883	負債の部計	19,102,042
構築物	88,435	純資産の部	
車両運搬具	1,752,107	科目	金額
器具備品	2,012,707	資本金	364,800,000
土地	51,716,258	資本剰余金	73,837,619
(無形固定資産)	(291,200)	その他資本剰余金	73,837,619
電話加入権	291,200	資本金及び資本準備金減少差益	73,837,619
		利益剰余金	71,878,233
		繰越利益剰余金	71,878,233
		株主資本合計	510,515,852
		純資産の部合計	510,515,852
資産合計	529,617,894	負債及び純資産合計	529,617,894

2 損益計算書

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日(単位:円)

科目		金額	
経常 損 益 の 部	(営業損益の部)		
	営業収益		235,176,154
	売上高	235,176,154	
	営業費用		228,314,744
	売上原価	207,144,020	
	販売費及び一般管理費	21,169,724	
	営業利益		6,862,410
	(営業外損益の部)		
	営業外収益		691,469
	受取利息	201,769	
	その他の営業外収益	489,700	
	営業外費用		205
	開業費償却	205	
その他の営業外費用			
経常利益		7,553,674	
税引前当期純利益		7,553,674	
法人税、住民税及び事業税		3,775,035	
当期純利益		3,778,640	

IV 平成25年度事業計画

1 「平尾台自然の郷」の指定管理事業

- ・「平尾台トレイルランニング」、「平尾台クロスカントリー」、「ヒルクライム」及び「シクロクロス競技会」などのスポーツ体験型、「平尾台夏のピクニックコンサート」、「平尾台自然音楽祭」などの鑑賞型、「平尾台観光祭」、「新米まつり」、「平尾台野焼き」などの地域活動・地域産業との協働型、その他パフォーマンスショーなど多種のイベントを実施する。
- ・学校教育の環境体験科の授業、運動部の冬期合同訓練、中学生・高校生合同ブラスバンド演奏会、その他中学校対抗駅伝や幼稚園運動会などの会場として提供、協力を行う。
- ・菜園・果樹園を利用した「芋ほり大会」、「ブルーベリー摘み取り」イベントの実施。シバザクラ園、せせらぎ園、ビニールプール、砂場、雪場、及び遊具など安全安心な楽しみの場を提供する。
- ・レストランでは、量り売りバイキングの「ピクニックランチ」を継続するとともに、平尾台高原利用組合からの受託で地元農産品などの販売を行う。

2 「平尾台自然観察センター」の指定管理事業

- ・入館者、活動の拡大を図るため、年間イベント計画を立て観察センター主催の各種観察会、鍾乳洞探検、登山教室などを実施するとともに、各種ボランティアグループと協働して野草調査、生物多様性維持活動、草刈などを行なう。
- ・地域住民の提案に協力する形で、フィールドの外来種や竹林の除去など、自然保護活動を協働する。

V 平成 25 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日 (単位：千円)

勘定科目	平成 25 年度予算
(営業損益の部)	
売上高	257,350
売上原価	230,086
一般管理費	22,590
営業利益	4,674
(営業外損益の部)	
営業外利益	540
受取利息	160
その他営業外収益	380
営業外費用	0
営業外利益	540
税引前当期利益	5,214
法人税・住民税及び事業税	3,077
当期利益	2,137

VI 役員名簿

平成 25 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	木下伸生	社長
取締役	井上勲	北九州市総務企画局長
〃	西田幸生	北九州市産業経済局長
〃	今永博	北九州市建設局長
〃	山田高寛	三菱マテリアル(株)九州工場副工場長
〃	根石紀雄	(株)ユアーズ代表取締役社長
〃	安藤俊作	住友大阪セメント(株)小倉事業所副所長
監査役	糸永卓見	(株)太平設計代表取締役社長
〃	川本惣一	(株)西日本シティ銀行取締役専務執行役員